

平成20年度質の高い大学教育推進プログラム審査結果表【選定】

機 関 名	鹿児島純心女子大学				
取 組 名 称	英語新時代を拓く教師養成モデルの構築				
取組学部等	国際人間学部（英語コミュニケーション学科、こども学科）				
申 請 区 分	教育課程の工夫改善を主とする取組				
整 理 番 号	A11211	申 請 の 形 態	単 独	取 組 期 間	3 年
申請の分類	専門基礎	体験活動	地域活性化		
キーワード	小学校英語，教師養成のためのモデル，学生と小学校教員の共学，英語指導実践力，リーダーの資質の涵養				

<選定理由>

本取組は、小学校英語必修化を見据えて、小学校英語活動のリーダーの資質を備えた教員を養成しようというプログラムであり、地域社会のニーズに応える先導的な取組として、高く評価できる。取組の具体的内容や連携機関も明確であり、他大学のモデルになりうる。

ただし、既存のカリキュラムにうまく接合されているように見えるものの、取組が目指している教員の資質を修得するには、必要な単位数がかなり多い点が懸念される。また、育成すべき能力の評価と質保証のシステムを用意する必要がある。これらの点を改善し、地域の需要に応えつつ、「こども英語教育能力認定証」の社会的・公的認知を獲得することを期待する。

取組の概要

本取組は、地域社会のニーズに応え、これまでの本学の小学校英語の取組をより充実させることによって、小学校で外国語（英語）活動を指導できる人材を養成するものである。

本学国際人間学部は、こどもの成長を助け教育に携わる人材養成に力を入れてきた。平成20年度より小学校及び幼稚園教諭一種免許状が取得できる養成課程を持つことになり、小学校で英語を指導できる教員養成が本格的に行えるようになった。この好機に、両学科のノウハウを統合し、小学校で英語を効果的に指導できる教師養成のためのモデルを構築する。

本取組では、実践を重視し、学生が地域の小学校で実習することで指導力をつけると同時に小学校の英語活動の活性化を図る。また、本学の関連講義を小学校教員にも開放し、それによって学生が現場のニーズ等を教員から直接聞き、課題に対する解決策を考え、模擬授業等を体験することで学生と小学校教員の共学の場とする。さらに地域の英語活動におけるニーズを調査・分析し、それに基づき、地域に根ざした教材やカリキュラム等を開発する。このこども英語教育能力を養成する課程を学ぶことによって、小学校英語指導の即戦力となり、地域で英語活動を推進するリーダーになることが期待できる。それにより、保育所・幼稚園での英語教育、中学校での英語教育への連携を促され、地域英語教育力の活性化への貢献となる。

本取組の骨子は以下の通りである。

- 1) 学生と小学校教員の共学・協働による英語指導実践力の育成
- 2) イベント等の企画運営の体験を通したリーダーの資質の涵養
- 3) これまでの認定証を発展的に統合した「こども英語教育能力認定証」の授与
- 4) 行政・学校・大学が一体となった地域英語教育力向上のための学生参加型ネットワーク作り